

かけはし

学校教育目標

自ら学び共に学ぶ

豊かな心をもった児童の育成

6年修学旅行 テーマは“絆”

6年生が5月30日～31日に佐賀・長崎へ修学旅行に行ってきました。

新型コロナウイルス流行からの3年間、集団での行動に何かと制限がかかってきました。バスでの社会見学や5年生での宿泊合宿など経験できないことも多かった6年生。そんなこともあってテーマは「絆」です。

雨の中バスに乗り込み、1日目スタート。バスガイドさんから「沖代小学校ってどんな学校？」との質問に、子どもからの答えは「あいさつが上手!」「みんな優しい!」「先生たちが面白い!」等とプラスの声がたくさん聞こえてきました。

まずは吉野ヶ里遺跡で弥生人の生活を学びました。前もって吉野ヶ里遺跡で弥生時代後期後半の石棺墓が発見された新聞の切り抜きを持ってきている子どももいました。前日に中津歴史博物館から講師を招いて勉強しただけあって、学習意識がとても高い6年生です。

午後は長崎へ。平和の学習です。平和公園で集会を開きました。全校から託された千羽鶴を捧げ、平和に向け行動することを誓いました。原爆資料館に行き、貴重な資料を見学し、被爆者の講話を聞きました。真剣に学ぼうとする子どもたちの姿を見ることが出来ました。

そしてホテルへ。一緒に風呂に入りご飯を食べ、寝ることで絆が深められた様子でした。

2日目はハウステンボスへ。心配していた雨も上がり最後は晴れに変わりました。仲間とカ一杯楽しみました。班行動は思うようにいかない場面もあったようですが、これもまた勉強です。

2日間の全行程を終えた子どもたちの表情には満足感があふれていました。



出発式で「絆」についてお話。みんなの心が一つになりました。



雨の吉野ヶ里遺跡。弥生人の知恵を改めて感じていました。



千羽鶴を捧げました。雨にも負けず、みんなで世界の平和を祈りました。



原爆資料館の展示物を真剣に見ていました。この貴重な体験を生徒忘れないでほしいです。



班長会議の様子。自分たちの行動をしっかり振り返り、2日目についていきました。



とっても綺麗なハウステンボス。一生の思い出が出来たことでしょう。